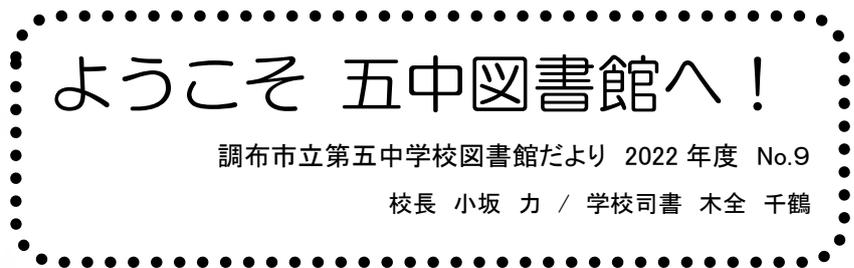


二十四節気・3月6日頃



卒業式の練習が始まり、学校内でも歌声が響いてきました。

3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。

進学先でも、ぜひ学校図書館に足を運んでください。(司書はきっと待っています)

1. 2年生の皆さん、4月には更に成長した姿を 期待しています。

### ☆今年度の貸出統計 (3月8日現在)

今年度も一段と貸出冊数が増えました。図書委員会目標の1人平均17冊の達成は少し難しそうですが、春休み貸出を前に、昨年度の冊数を既に超えています。

図書委員の皆さん、図書館を盛り上げてくれてありがとうございました。

( ) 内は 昨年度

	貸出冊数	1人あたりの冊数
1年生	5,631 (4,362)	24.4 (17.8)
2年生	3,568 (3,524)	14.4 (12.9)
3年生	2,156 (2,610)	7.8 (11.2)
合計	11,355冊 10,496冊	15.0冊 14.0冊

#### 【貸出が多かった本 その1】ノンフィクション編

『いぬほん』道雪 葵/著 西東社

『中学理科がちゃっかり学べる ゆる4コマ教室』  
うえたに夫婦/著 学研プラス

『ブッタとシッタカブッタ』  
小泉吉弘/著 メディアファクトリー

『わいるどらいふっ』  
一日一種/著 山と溪谷社

『だから僕は大人になれない』  
ぺいんと/著 KADOKAWA

『小説はたらく細胞』清水茜/著 講談社



#### 【貸出が多かった本 その2】物語編

『キノの旅』シリーズ 時雨沢恵一著 メディアワークス

『余命一年と宣告された僕が、余命半年の君と出会った話』森田 碧/著 ポプラ社

『ふたつの月の物語』 富安陽子/著 講談社

『僕が愛したすべての君へ』 乙野四方字/著 早川書房

『魔女と花火と100万円』 望月雪絵/著 講談社

『世界は「」で満ちている』 桜いいよ/著 PHP 研究所



昨年度も貸出上位に入った本。学園祭の中止を一方的に決められ、中2の杏たちは…? 「反抗」「説得」で揺れる等身大の中学生を描きます。

【予約が多かった本】

		
<p>『かがみの孤城』 辻村深月 ポプラ社</p>	<p>★『どうか、 彼女が死にますように』 喜友名トト KADOKAWA</p>	<p>★『変な家』 雨穴 飛鳥新社</p>

元々人気がありましたが、冬に映画化され、人気が再燃しました。映画も本も感動必須、おすすめです！

★は1年生ビブリオバトルのクラス代表本です。どのクラスの代表本も人気で、予約がたくさんつきました。

		
<p>『准教授・ 高槻彰良の推察』 沢村御影 KADOKAWA</p>	<p>『ONE PIECE FILM RED』 志田もちたろう 集英社</p>	<p>『JK、インドで 常識ぶっ壊される』 熊谷はるか 河出書房新社</p>

図書委員会の生徒が選んで買った本。怪事件を集める、民俗学准教授の高槻彰良と、嘘を聞き分ける耳を持つ大学生、深町尚哉の物語。現在8巻まであります。

市内司書推薦本リストに載った本。初めて住むことになったインドの様子を、女子高生（JK）目線で描きます。

		
<p>★『N』 道尾秀介 集英社</p>	<p>『同志少女よ、敵を撃て』 逢坂冬馬 早川書房</p>	<p>『あの花が咲く丘で、 君とまた出会えたら』 汐見夏衛 スターツ出版</p>

家を飛び出した中2の百合は、戦時中の日本に迷い込み、偶然通りかかった彰に助けられる。しかし、彰は特攻隊員だった…  
続編 『あの星が降る丘で、君とまた会いたい』 もあります。

今年度の利用、ありがとうございました…